

平成28年度 帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科（上野原キャンパス） 卒業研究発表会

第一日：2月6日（月）

教室401			教室402			教室403		
時刻	研究室	題目	時刻	研究室	題目	時刻	研究室	題目
9:50		学科長あいさつ	9:50			9:50		
10:00	今野見1	島に暮らすネコの個体情報データベース	10:00	花岡1	写真投影法による酪農体験プログラムの教育効果の検証	10:00		
10:15	今野見2	島に暮らすネコの個性：「人懐っこさ」の違い	10:15	花岡2	ウサギの飼育体験が幼児の発達に与える影響について～参与観察による検証	10:15		
10:30	今野見3	ミトコンドリアDNAによるネコの系統関係の推定	10:30	花岡3	AAE犬育成プログラムの検証～特に他種動物に対する馴化の検証と成果	10:30		
10:45	藪田1	コマンドで吠えることをイヌが覚えるまで	10:45	花岡4	P4C法を導入したAAEプログラムの実践と成果	10:45		
11:00	藪田2	大久野島におけるアナウサギの闘争行動	11:00	井藤1	獣医師の倫理	11:00		
11:15	山本1	作業療法士と理学療法士の動物介在療法への意識調査	11:15	井藤2	家族ペットの心理的効果と存在意義	11:15		
11:30	山本2	乗馬に興味がある発達障がい児の共通点についての考察	11:30	島田1	島嶼におけるノネコの社会ネットワーク	11:30		
11:45			11:45	島田2	奥多摩湖周辺に生息する野生ニホンザルによるオニグルミ採食	11:45		
12:00	山本3	ツイッター投稿から読み解く日本人の盲導犬に対する意識	12:00	島田3	種子の破壊率からみる奥多摩に生息するニホンザルの種子散布者としての役割	12:00		
12:15	山本4	アルツハイマー型認知症に対する乗馬運動の可能性～運動療法的視点における文献調査～	12:15	島田9	ハンフトガラスにおけるコンタクトコール（ka call）の地域間比較	12:15		
12:30	今野見4	ヒトのあくびはネコにうつるか？：音声刺激による検討	12:30	森貴1	障害物の形状から探るアジゾウの障害物除去行動の発現傾向	12:30		
12:45	今野見5	イヌのあくびはヒトにうつるか？：動画刺激による検討	12:45	森貴2	樹皮を条件刺激とした変形菌の連合学習	12:45		
13:00	今野見6	指球形態から探るイエヌの進化	13:00	森貴3	金華山のシマヘビの採餌生態	13:00		
昼休み			昼休み			昼休み		
14:00	今野見7	猛禽類の個体間の近接度に影響を及ぼす要因	14:00	森貴4	氷の殻に対するハンボソガラスの対応	14:00	花岡5	山梨県都留市における多頭飼育問題の発生と経緯、そして終焉
14:15	今野見8	オキシトシン受容体遺伝子の犬種差	14:15	森貴5	ヒバリのさえずり；複雑さと熱心さの関係	14:15	花岡6	災害時のペット同行避難に関する現状と意識調査
14:30	今野見9	麻薬探知犬の可否は行動によって見分かれるか？	14:30	森貴6	埼玉県三市町におけるハクシロによる農作物被害と対策の実態調査	14:30	花岡7	日本の動物観の地方変異～異類婚姻譚からの追究
14:45	藪田3	麻薬探知犬育成訓練で行われるイヌとヒトの遊びと個体差	14:45	森貴7	アニマルサイエンス学科にある顕骨標本	14:45	花岡8	動物園と子どもの動物観～質問紙法ならびに描画分析からの検討
15:00	藪田4	イヌはレトリブするときなぜ躊躇するのか	15:00	森貴8	紫外線の有無によるオオダイショウの光の選択	15:00	花岡9	高齢者に対する動物介在活動の実践と施設職員による実践評定
15:15	藪田5	基本トレーニングをしている時のイヌの尾の振り	15:15	森貴9	アカミガメのバスキングライトの嗜好性：ワット数の比較	15:15	花岡10	帝京科学大学における動物介在教育の実態と課題
15:30	藪田6	飼い主とのコミュニケーションにおけるイヌの表情	15:30			15:30	花岡11	ヘアレスモルモットによる動物介在教育の試み1～質問紙法による検証～
15:45	藪田7	イヌのスマイルトレーニング	15:45	島田5	再発見！奥多摩町サギチ沢にすむカワネズミ	15:45	花岡12	ヘアレスモルモットによる動物介在教育の試み2～児童の行動解析による検証～
16:00	藪田8	ヒトが視線を合わせることはイヌにとって報酬になるのか	16:00	島田6	動物映画における日米の動物観の違い	16:00	花岡13	廃校を活用した環境教育プログラムの実践と成果
16:15	藪田9	モルモットへのクリックートレーニング	16:15	島田7	フェレットのトイレ使用のパターンと飼い主との関係	16:15	井藤3	ペットと人のかかりと犬・猫の人気
16:30	藪田10	マウスにクリックートレーニングは有効か	16:30	島田8	山梨県身延町・南部町におけるヤマビル増加の要因	16:30	井藤4	犬の殺処分と未来
16:45	藪田11	アフリカンシクリッドのハレム内のディスプレイ行動	16:45	島田9	ヘヴィメタルはなぜ多くの人に拒絶されるのか	16:45	井藤5	動物を信仰した人々
17:00	藪田12	イヌは履物が変わっても飼い主の足音を認識できるのか	17:00	島田10	カイウサギにおける移動速度と踏み出す足の嗜好性との関係	17:00	井藤6	昆虫食の今後
17:15	藪田13	Youtubeで見る鳴き方の犬種差	17:15	島田11	ケンボナシにとってホンダヌキはよい種子散布者か？	17:15		

第二日：2月7日（火）

教室401			教室402			教室403		
時刻	研究室	題目	時刻	研究室	題目	時刻	研究室	題目
10:00	加賀谷1	日本の河川におけるナイルティラピアとモザンビークティラピアの生息状況と生態について	10:00	小川1	生き物の鳴き声が短期記憶に与える影響	10:00		
10:15	加賀谷2	国内における養殖場の調査及び錦鯉への給餌回数と魚体の仕上がりに関する研究	10:15	小川2	視覚情報がもたらす動物行動の変化	10:15		
10:30	佐渡友1	水族館の誘因要素と動物園への導入可能性	10:30	小川3	人がさわることによる犬のストレス～心拍からの検討～	10:30		
10:45	佐渡友2	動物園における動物の愛称掲示が語ること	10:45	古瀬1	自然公園等で使用する設置や回収が容易な野外サインの開発	10:45		
11:00	並木1	コツメカワウソウの展示環境と行動特性	11:00	古瀬2	都市型環境教育施設の現状と課題	11:00		
11:15	並木2	動物園における猛禽類の繁殖状況	11:15	森恭1	小笠原交島小港におけるミナミハンドウイルカとハシナガイルカの未遊時間	11:15		
11:30			11:30			11:30		
11:45	並木3	カヤネズミの巣の構造と機能	11:45	古瀬3	都立公園における自然ふれあい活動の現状	11:45	小川4	鳥の鳴き声が人に与える生理的影響～脳波からの検討～
12:00	並木4	フサオマキザルを含むサル3種のフィーダー利用の特徴	12:00	古瀬4	都市公園での使用を想定した環境教育プログラムの開発と活用～木の実を主要な題材として～	12:00	小川5	好みの音楽は作業へのやる気に貢献できるか
12:15	並木5	3つの動物園における動物解説板の類似点と相違点	12:15	古瀬5	犬連れでの公園利用に関する研究～桂川ウェルネスパークにおける「ドッグフレンドリーパーク」の実現に向けて～	12:15	小川6	犬の車酔い（動物園）に関する研究～音楽は動物園の緩和策となるか～
12:30	並木6	トラヤギの飼育環境整備の試み	12:30	古瀬6	ビジターセンターにおける「更新される自然情報」の提供に関する研究	12:30	小川7	オンライン上のアイドル動画は人の感情調節にどのような効果があるのか
12:45	並木7	動物園のトラ2亜種の繁殖にみられた特徴	12:45	古瀬7	ホルネオ島の環境問題を題材とした環境教育活動の実践	12:45	小川8	ドッグマッサージが犬に与える効果
13:00	並木8	ハンビロコウはどのような羽織り行動をしているか	13:00	古瀬8	昆虫採集・標本作製の教育的価値に関する研究	13:00	小川9	伴侶犬と飼い主間での活動の比較
昼休み			昼休み			昼休み		
14:00	加賀谷3	ナイルティラピアの高水温飼育の難易度に関する研究	14:00	古瀬9	馬とのふれあい活動の場で行う馬を学ぶためのプログラムの検討	14:00	小川10	犬と寝ることによる人の睡眠への影響
14:15	加賀谷4	ナイルティラピアの高水温飼育による不妊化の開始時期の検討	14:15	古瀬10	「アイスブレイク」のプログラムに含まれる要素の研究	14:15	小川11	馬の日中活動と夜間活動の関係
14:30	加賀谷5	ナイルティラピアの高水温飼育による不妊化の確認	14:30	森恭2	外国産クワガタの国内島嶼地域での繁殖の可能性を探る	14:30	小川12	牛による動物介在活動の可能性
14:45	加賀谷6	飼育下におけるナイルティラピアの社会行動	14:45	森恭3	マイクロプラスチック問題における駿河湾産の表層魚への影響	14:45	小川13	イルカショーが人に与える生理的・心理的影響
15:00	加賀谷7	チンアナゴの個体識別方法に関する研究	15:00	森恭4	駿河湾の深海魚から見るマイクロプラスチックの影響	15:00	横山1	アプリ「ポケモンGO」から見える可能性
15:15	加賀谷8	ポリマーを用いた飼育環境下のチンアナゴの行動に関する研究	15:15	森恭5	リクゼンイルカの成長に伴う形態の変化	15:15	横山2	「ゆるキャラ」成功の考察、および上野原市、帝京科学大学への「ゆるキャラ」の提案
15:30	加賀谷9	アートアクアリウムに対する世間の反応	15:30	森恭6	イシヤカガの食道と気道の模式化	15:30	横山3	日本と西洋の紋章比較
15:45	渡辺1	放線菌の分離同定ならびに生成物について	15:45	森恭7	水族館7館におけるイルカショーの構成把握と比較	15:45	横山4	動物利用に対する若者の関心度とそれに伴う価値観
16:00	渡辺2	歩合度の違いによる糖度の変化とどろろく作製	16:00	森恭8	「ホエールウォッチング」に対する世間の関心とその変化	16:00	横山5	高齢者施設における動物園見学が可能な～高齢者と職員への聞き取り調査より～
16:15	渡辺3	どろろく作製の加水量、アルコール度数ならびに糖度の関係	16:15	森恭9	接着剤による鯨類へのデータロガー装着効果	16:15	横山6	学校林の普及啓蒙活動について
16:30	渡辺4	感情による口腔内細菌の菌数変化	16:30	森恭10	能登島のミナミハンドウイルカの生活史パラメーター	16:30	横山7	犬派・猫派と浮気性との関係性について
16:45			16:45			16:45	横山8	日本と欧州の動物園水族館比較

発表時間は15分／1テーマ（発表10分、質疑応答4分、入替準備1分）です。

司会は各研究室の教員がおこなってください。時間厳守でお願いいたします。